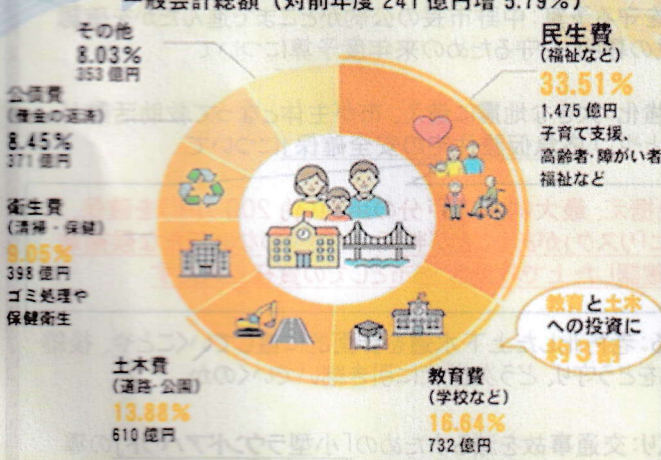
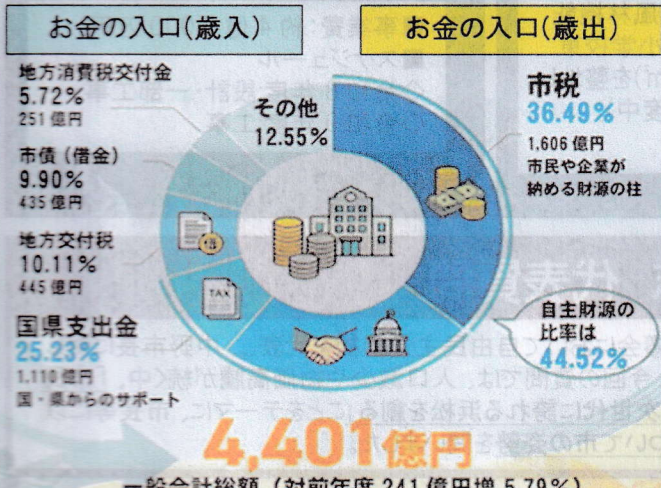


# 市政は今

## + 視座 忘己利他

## 三方原地区の未来を、浜松市の未来を、確かな一歩

### 浜松市議会議員 **さいとう和志**



#### ★街の活力を高める「地域経済・環境」

- 主要施設の更新: 「西部清掃工場の更新事業」には、今年度約 46 億円という大きな投資、これは将来のゴミ処理に不可欠なインフラ整備。
- 地域活性化: スタートアップの創出支援や、天竜材を活用した住宅建築への補助(最大 7,050 万円)、観光キャンペーンなど、地域の稼ぐ力を高める施策の展開。また、アクトシティ浜松 D ゾーン(楽器博物館など)の改修や、中消防署高台出張所の建設など、住民の皆様が実際に利用できる新しい環境を整備

#### ★暮らしを支える「福祉・子育て支援」

- 子育て世帯へのサポート: 私立保育所等への助成(約 271 億円)や、家庭福祉支援事業(約 200 億円)
- 医療費の助成拡充: 物価高騰対策として、こども医療費の通院無償化を「乳幼児まで」から「小中学生まで」に拡充
- 障害者・高齢者支援: 障害者自立支援給付(約 221 億円)など、誰もが安心して暮らせるためのセーフティネットの強化。

#### ★未来を創る「教育とデジタル化」

- 学校環境の整備: 小学校の施設整備(約 39 億円)など、老朽化対策や安全な学習環境の確保。
- 部活動の地域移行: デジタル技術を活用し、地域クラブのポータルサイト構築や校舎利用のためのスマートロック導入

#### ★日々の生活を守る「物価高騰対策」

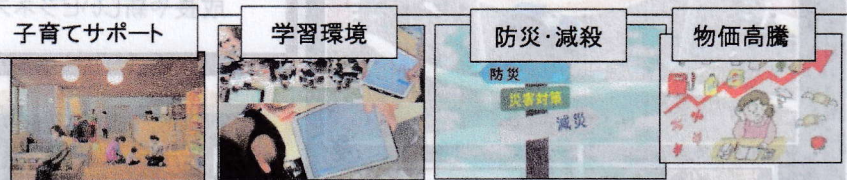
長引く物価高から市民生活を守るための具体的な支援。

- 家計への直接支援: プレミアム付商品券の発行や、生活支援商品券の配布(高齢者・低所得世帯向け)
- 負担の軽減: 学校給食費の負担軽減や、水道料金の減免(一部期間)などを実施。

#### ★命を守る「防災・減災・安全」

災害に強い街づくりのため、約 167 億円が投じられています。

- 地震・浸水対策: 住宅の耐震化推進(約 3.5 億円)や、河川の改良・校庭貯留施設の整備(約 26 億円)などを実施。
- 新たな避難支援: 感震プレーカーの設置費助成(約 1,276 万円)や、公式 LINE 等を通じたヒヤリハット事例の投稿機能拡充など、住民参加型の安全対策。



#### はまクル

浜松市の中学校部活動が地域クラブへ

- 休日の部活動 地域展開
- 40%以上 市立中学校の移行予定
- 運動支援・安全確保の体制整
- 充実の運営サポート体制

令和 8 年 9 月

#### 浜松楽器博物館

浜名区 9 人(変更無)

中央区 34 人→33 人

#### 議員定数削減(政令市最少)46名→44名

三方原地区は「中央区が選挙区」となります

#### 人口動態に合わせた、公平な代表選出へ

2035年推計人口に向けた大規模な人口減少(市全体で約5.7万人減)を見据えた適正化。

天竜区 3人→2人

【現在定数】1票の格差率: 最大 **2.85倍**

【新たな定数】1票の格差率: 最大 **1.89倍**

Before After

## 水道料金改定



### ■減免期間

◇当初期間:2025.10.1~2026.3.31

◇延長期間:2025.10.1~2026.6.30

◇新料金 :2026.7.1 から新料金

### ■改定内容

◇基本料金:現行料金 660 円据置

◇従量料金:増加分の「4割」差引

■例(口径 13 mm 20 m<sup>3</sup>/月使用)

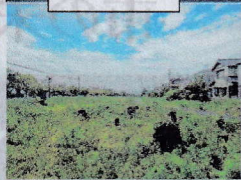
◇減免期間中:2,294 円/月

(本来改定額より 210 円軽減)

◇改定後 :2,504 円/月

## 三方原防風林跡地再生

Before



After



After



■松くい虫被害により防風林機能の役目を終えた初生小学校東側の土地(約 5,184 m<sup>2</sup>)を整地して再整備(令和 8 年度中)。

■事業費:約 770 万円

## 三方原協働センター体育館等大規模改修工事



■事業費:約 4 億 7,000 万円

■スケジュール

◇令和 8 年度:設計・一部工事

◇令和 9 年度:工事

## 三方原中学校「まなびの教室」開設



■まなびの教室は、浜松市が不登校等の小中学生のために設けている“安心して過ごせる居場所”

■少人数での学習・体験活動・交流を行う支援教室

■支援員 1 名配置

■市内 48 中学校中 44 中学校で開設

## さいとう和志 代表質問

和 8 年 3 月 6 日、3 月議会において自由民主党浜松を代表し、中野市長に対し代表質問を行いました。今回の質問では、人口減少や物価高騰が続く中、「市民の命と暮らしを守り抜き、次世代に誇れる浜松を創る」ことをテーマに、市長等に以下の 5 つの重要課題について市の姿勢を問いました。

🔪 市長の 3 年間と生活を守る予算:中野市長の公約がどこまで進んだかを確認し、物価高騰から市民の暮らしを守るための来年度予算について

🔪 命を守る防災体制の強化:大きな地震に備え、市が主体となって救助活動ができる体制を整えることや、「応急仮設住宅の安全確保」について

**南海トラフ巨大地震を見据え、最大約 2 万戸分の用地(約 200 カ所)を確保、しかし、候補地の約 2 割に「リスク」があることが判明、「リスクのない新たな候補地を掘り起こし、安全を再確認した上で救助実施市としての責任を果たす**

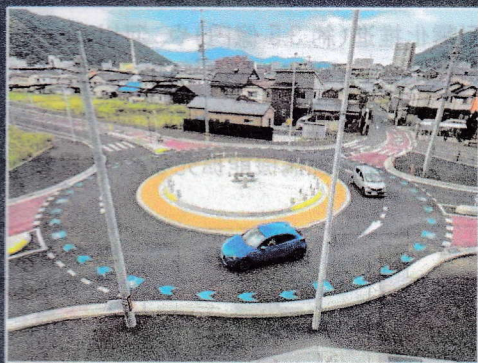
🔪 水と農業の未来を守る:老朽化した上下水道を計画的に直していくことや、後継者不足が深刻な農地をどう守り、どう次世代に引き継いでいくのか

🔪 安全で活気ある街づくり:交通事故を減らすための「小型ラウンドアバウト」の導入や、中心市街地(鍛冶町通りなど)を人が歩いて楽しめる空間にするには

**県内初となる三方原地区への小型ラウンドアバウト整備、令和 8 年度に着工、令和 9 年度に完成**

🔪 環境と経済の両立(グリーン成長):脱炭素社会への取り組みを、地元の企業の成長や新しいビジネスにつなげるための支援策について

## 小型ラウンドアバウト 令和 8 年度着工、9 年度完成



市道大原 2 号線

浜松地区運送事業協組

日興電気通

丸新山下本社営業所

## 視座

▲市長が示した令和 8 年度予算は、物価高対策から未来産業の育成、そして災害に強い都市づくりまで、浜松の将来を見据えた明確な方向性が示されており、市民の安心と希望を支える力強いメッセージだと受け止めます。▲春は、子どもの持ち物に名前を書く季節。俵万智さんの歌のように、名付けた時の思いが甦ります。やがて親の名前を書く場面が増え、誰もが年を重ねていくことを実感します。別れと旅立ちの季節、願いを込めた名前とともに新しい日々が始まります。▲新しい場所では、思いがけない出会いが重なり、その一つひとつが自分の歩む道を少しずつ形づくっていきます。良い友もいれば、時に心を揺さぶる相手もいます。どちらも単純に善悪で分けられるものではなく、関わりの中で自分がどう変わるか、が大切。人は、学ばせてくれる友に励まされ、揺さぶる友に試されながら、少しずつ成長していく。春は、その新しい研さんが始まる季節です。